



# ブドウ「シャインマスカット」の栽培マニュアルを作成

— 県内への普及促進を図ります —

## 作成の背景・ニーズ

「シャインマスカット」は（独）農研機構果樹研究所が育成し、平成18年に品種登録され、食味など果実品質が優れることから、全国で栽培が急増しています。本県では直売農家を中心に導入がすすんでいます。他県との競争力を強化するには、早急に普及させ産地化する必要があります。そこで、本県における「シャインマスカット」栽培技術の標準化を図るため、これまでの試験結果をもとに、栽培マニュアルを作成しました。

## 成果の内容

「シャインマスカット」は種なし栽培での品質が優れ、近年の消費者も種なし果実を好むことから、無核栽培に限定したマニュアルを作成しました。果実の生産目標を定め、この達成のための基本的な栽培技術をまとめました。

**[整枝せん定]** 本県が技術確立した省力的な「平行整枝長梢せん定」は、シャインマスカットの無核栽培においても、高品質な果実生産が可能であることが分かりました。

**[無核化处理]** 種なし巨峰栽培で確立されている無核化处理技術をシャインマスカット向きに改良しました。開花前に花穂の先端3cmのみを残し、満開3日後と10~14日後に2回ジベレリン処理を行います。ジベレリンとホルクロルフェニユロンの混合液を満開5日後に1回のみ処理する方法も可能です。

**[着果管理]** 着果過多や、極端な大房栽培は、糖度が低くなり果実の食味が低下します。150cm程度の長さの新梢を1㎡あたり6~7本配置し、1房重量や10aあたり着房数を目標に従って制限することで食味良好な果実が生産できます。



シャインマスカット

### シャインマスカットの果実生産目標

1 果粒重	: 12~14 g
1 房粒数	: 35~40粒
1 房重量	: 450~500g
10aあたり着房数	: 3,000房
10aあたり収量	: 1,500 kg
糖 度	: 18%以上

内容の一部をHPで掲載中です→

<http://www.pref.aichi.jp/nososi/syukai/engei/06.pdf>



## 愛知県農業への貢献

「シャインマスカット」の無核栽培方法をマニュアル化したことにより、生産者は安心してこの品種を導入することができるようになりますとともに、高品質な果実生産が可能となります。直売農家では、品揃えの充実と所得向上が期待できます。また、県内での産地化が加速し、市場における県内産のシェアを伸ばすことにより、ブドウ栽培農家の所得向上・経営の安定に貢献できます。